

学校関係者評価報告書

中部ファッション専門学校

校長 片嶋 文子

学校関係者評価委員会は、2023年度自己点検評価報告書を基に学校関係者評価を下記の通り実施致しました。学校関係者評価の結果を踏まえ、教育の質向上、学校運営の強化に取り組んでいきます。

記

1. 日時 … 2024年8月7日（水）午前10時から午後12時
2. 内容 … 自己点検評価報告書に基づき、各項目の点検・評価、及び学内視察を実施
3. 委員 … 古宿彰一 ((株)ヤマダヤ マネジメント本部長)
澤田貴彦 (リンカアソシエイツ(株) 取締役専務、卒業生)
水谷龍也 (株)アクトマテリアル ショップオーナー、卒業生)
杉原啓次 (元信用金庫支店長、知立市民)

学校関係者評価表

1. 学校の教育目標

1993年4月、知立文化服装専門学校はその名を中部ファッション専門学校と改め、新たなスタートを切りました。

「ものづくりのプロを育てること。」これこそが、教育の原点であり、目標でもある。「ものづくり」とは、単純作業による製造ではなく、作り手の高度な技術、感性や精神性の体現による製造と考えている。本校は、単なる「服のつくり方」ではなく、デザインを考える力とそれを構築し表現する技術、そして商品としてのコーディネートする力を教育している。

デザイン力については、デザイン教育、とりわけあらゆる文化を比較、融合し、独自の視点を持てるよう教育している。構築し表現する技術については、最も本校が力を入れている教育であるパターンメイキングを中心とした高度な技術の習得である。ものを構築する力があってこそ、デザインの組み立てとその表現・体現を行うことができるため、やはり、技術力は重要な教育のひとつである。

私たちが目指すのは、68年余りにわたる伝統と実績をベースに、一流の教授陣と最新の設備を駆使して、専門知識と確かな技術、センス、ビジネス力をトータルに身に付け、頑固なまでにワザにこだわり、ファッション業界で全国あるいは国際レベルで、幅広く実力を発揮できるようなプロフェッショナルな人材を育成することです。

また、「ファッションは生き方の表現である」という観点に立ち、技術の習得だけでなく豊かな人間性も育んでいきたいと考えます。ファッションを「作る」のではなく「創る」人、全国や世界を目指す人、豊かさに満ちた生き方を実践できる人…、そんな若い未知の才能を見出し開花させ、素晴らしい人材を育てることこそが、私たちの教育テーマなのです。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・考（プラン）→創（クリエート）→売（コーディネート）の各ゾーンで求める人材育成
- ・学生のプレゼンテーション能力のアップ
- ・「人間力」を育む

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1).教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
・学校理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1

・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

評価

教育理念・目標はしっかり定められているので問題は無い。ファッション流通学科については、スキルに直結した講師が必要だろう。また最近ではスマートフォンでの撮影が現場で求められる場合もあるので、一眼レフやスマートフォンの取り扱いやオペレーター業務の重要性も同時に指導する事を望む。また業界の情報化（3DCAD等）に対応できる学生の育成も望む。

(2).学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	③	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	③	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

評価

厳しい少子化の中で学校運営を行う難しさがあるが、現時点では問題無い。ただし、学園には複数の学校があるので山本学園組織の連携強化がさらに必要と考えられる。

(3).教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修行年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・関連分野の企業・開発施設や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1

・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するマネジメントが行われているか	④	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

評価

教育活動については、しっかり取り組まれている。今後も時代の流れが速く、ファッション業界の求める人材も変化していくので、学年・学科のさらなるカリキュラムの編成が必要である。授業計画や成績評価がネット上で知ることができるのは、良い事である。

(4).学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1

評価

学修成果、特に資格取得や就職状況については、詳細な情報がホームページ上で公開されている事は非常に良い。退学者の低減については、特にコロナ禍の影響により各学生の事情が異なるため難しい面もあるが、常に改善方策を検討していくことである。

(5).学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	③	2	1

・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1
・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	④ 3 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

評価

学生支援については、よく取り組んでいる。また2020年4月より修学支援新制度がスタートし、所得の低い家庭の学生が助かる事は、良い事である

(6).教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

評価

教育環境については、施設設備も整っており、もろもろの活動に対する教育体制も整っている。防災については、体制も訓練もできているが、さらに災害発生時に臨機応変に活動できる力を身につけさせる訓練の実施をこれからも望む。

(7).学生の受け入れ募集

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

評価

都会ではなく、またファッションには程遠い地域でしっかり学生を確保している事は、学校の特色を打ち出し他校との差別化が行われている証である。これからはさらに少子化が進むので、学生募集のさらなる工夫を望む。

(8).財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
------	-----------------------------------

・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 ③ 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

評価

財務については、適切にそして健全に行われている。財務基盤も安定している。現在は財務情報を刊行物にて山本学園本部にて公開しているが、できればホームページ上での公開を検討して欲しい。将来に対しての先行投資が、少子化を乗り越え安定した財務基盤を維持する事を期待する。

(9).法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1
・自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

評価

法令等の遵守はしっかり行われている。8月からは、自己評価・学校関係者評価を公開できることになり、問題点の改善がさらに進む事を望む。

(10).社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
・学生ボランティア活動を激励、支援しているか	4 ③ 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

評価

大学と違い、専門学校の状況や生徒の状況を知ることが出来た。その中でも産学連携プロジェクトの実施等を行い地域に貢献しているなど評価に値する。今後も社会・地域への前向きな取り組みを期待する。

(11).国際交流（必要に応じて）

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	④ 3 2 1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 ③ 2 1

・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	③	2	1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	③	2	1

評価

学校の留学生受け入れに関してしっかりした考え方があるので、現在は留学生が在学していないが問題無し。エリア的に留学生の問題が多い愛知県では、慎重に取り扱うのが最善である。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

全体的には、適切に行われている。ただ今後の少子化の問題の対応や教員不足、また技術を持った教員の高齢化に伴う若い教員の技術育成を早急に実施しなければならない。また今回のコロナ禍による授業形態の変化、ファッションの不人気による入学生の減少を止めるための募集方法に対応する対策の実施等の問題があり、いかに解決していくかがこれからの課題である。また業界の情報化に対応できる学生の育成も、今まで以上に重要になってくる。